■令和4年度　大東中央幼稚園　学校評価

1．本園の教育目標

―本園の教育理念―

・「知・情・体」三位一体の総合全人教育

―本園では目指す幼児像として次の 6 項目を掲げる―

1．丈夫な体をつくる
2．自分のことは自分でする
3．人に迷惑をかけない
4．よく見たり聞いたりする
5．きまりを守る
6．感謝の気持ちを持つ

2．令和4年度、重点目標・計画

○ 感染症対策
○ 子どもの自立心や自発性を育む保育
○ 職員研修の充実

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
感染症対策	登園に際し、体温や健康状態をお知らせいただく「けんこうかんさつカード」を継続し、園児の体調管理を行った。 適切な手洗いの実施、園児降園後の保育室や物品の衛生的な管理（消毒等）を行った。 また、園児同士の飛沫感染を予防するための昼食用パーテーションを継続して使用した。 園内のガイドラインを適宜見直し、職員研修を行い、自宅療養・待機期間を職員全員が把握し、出席停止期間等説明出来るようにした。 感染防止対策をとりながらも、体育活動や外遊びに関してはマスクを着用しない、熱中症が予想される時には適宜対応する旨を保護者にもお知らせし、各ご家庭の方針にも対応できるように配慮した。 運動会や発表会に関しては、観覧人数の制限を昨年度より緩

	め、コロナ禍に入園した園児の最終年度に出来るだけ、保護者やご家族に園児の様子を見ていただけるように対策を講じた。 　マスクの着用についても、3 月 13 日からは個人（保護者）の判断に任せる対応となり、職員についても同様とした。
子どもの自立心や自発性を育む保育	コロナ禍で他クラス・他学年との交流が制限される中で、保育の内容も個々が中心のものになりがちであるが、自立心や自発性を育むためには他者との関りは欠かせないことから、出来る限り子どもが主体的に行動できるような保育環境を整えたり、一人一人の子どもの良さが友達に伝わるように褒めたり、認め合える機会を作った。 　しかし、自立心や自発性は短期間で養えるものではないため、継続的なアプローチが必要である。
職員研修の充実	研修の目的・目標を明確化し、職員のキャリアに応じた研修にリモート等で参加した。 　また、報道等でも取りざたされている「不適切保育」について、「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのチェックリスト」を活用し、個々の自己点検を行うとともに、各学年主任を中心とした研修を行い、発生防止に取り組んだ。 　合わせて「バスを安全に運行するため」のマニュアルを強化し、年度初めに関係職員全員に周知した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己点検・自己評価による評価結果は、概ね満足のいくものであったが、あくまでも、自己点検・自己評価ではあるので、個々で再検証し、重点的に取り組んだ内容も踏まえ、より充実した教育活動を行っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取組み方法
自己肯定感を育てる	昨年度の「自立心や自発性を育む保育」の継続として、より子ども達一人一人の長所や頑張りを認め、適切な声掛けができるよう、職員が自己肯定感についての知見を深める必要がある。 　子ども達が「絵画造形」「音楽活動」等、様々な経験や体験を通してだけでなく、普段の職員との関りの中からも「自己肯定感」を高めていくことができる保育の質向上に努めたい。 　１人１人が自分らしく生きるために必要な「自己肯定感」を育てていけるよう職員一人一人が心掛ける。

職員間の協力・連携の向上	職員がお互いに協働し、職員全体の一員としての役割をしっかり担っていくことが必要であることから、園の理念や方針についての理解を深める。 また、保育の質を向上に関することについても、共通理解をもつ機会としての園全体の研修や、学年主任を中心としての話し合いを行っていく。組織としての高いモチベーションを共有した職員の集まりとなるよう努める。
安全で安心な 防災への取り組み	コロナ禍で規模を縮小して行っていた、防災時の様々な訓練を今一度見直し、5 年度は「全園児引き渡し訓練」を含め、保護者にも防災の必要性を周知していきたい。 また、園内の遊具等の安全管理や、非常時の防災設備についても再確認していきたい。

6. 学校関係者の評価

委員からは評価結果について「概ね正しいと思われる」、「自分に厳しすぎる」、「もう少し良い評価ができる」等々の評価を頂いた。頂いた意見は真摯に受け止め、今後の園運営に活かしていきたい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

令和４年度

自己点検・自己評価
チェックリスト

（教員用）

学校法人　大東中央学園

大東中央幼稚園

自己点検・自己評価チェックリストの使用にあたり

学校等の設置基準の改定に伴い、学校の自己評価の実施と結果の公表について努力規定と積極的な情報提供が義務付けられました。幼児教育の重要性を踏まえた上で、本園の教育目標、教育課程等に基づいて、よりよい保育を行い、保護者から信頼される保育者になるために、このチェックリストを使って自分自身の保育を振り返り、保育の質を向上させて頂きたいと思います。

このチェックリストでは、保育者の役割を教育（教育方針・指導計画・健康・人間関係・環境・言葉・表現）、安全・衛生管理、学級運営、家族との連携、研修の項目に分け、保育者としての仕事を自己評価していきます。

単に、「できている。」「できていない。」ということではなく、チェックリストを使い自己評価する中で、自分の長所や課題を明確化し、保育者としての資質向上に役立てて頂きたいと思います。

自己点検・自己評価チェックリストの使い方

１、　チェックリストの各内容・設問ごとに下記の表の番号（１～５の５段階）に〇をつけ、右の□にその数字を記入する。

1	2	3	4	5
できていない				できている

単純に５段階で決められないような場合は自分の考え、思いを空きスペースに記入しても良い。

○　教育方針・指導計画について　○

【幼稚園教育の基本：環境（人的・物的）を通して行うことを基本とする】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
①教育方針・指導計画のチェック	1	・園の教育方針（教育目標）を理解しているか。 1　2　3　4　5 理解していない　理解している	4.4
	2	・指導計画の「ねらい」や「内容」を十分に理解し、その観点に沿った保育を行っているか。 1　2　3　4　5 行っていない　行っている	3.8
	3	・幼稚園教育要領を正しく理解し、保育内容を考える基となっているか。 1　2　3　4　5 なっていない　なっている	3.3
	4	・子どもの発達を正しく理解し、発達に配慮しつつ、子どもに対応しているか。 1　2　3　4　5 対応していない　対応している	4.0
	5	・保育内容の評価、反省をし、見直しを行っているか（※PDCAサイクルの構築）。 1　2　3　4　5 行っていない　行っている	4.1
	6	・毎週、週案を作成し、見通しをもった保育ができているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.0
	7	・幼児期に育ってほしい「10の姿」を理解しているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.5

※PDCAサイクル：Plan（計画）、Do（行動）、Check（振り返り）、Action（改善）を繰り返すこと。

◇　健　康　◇

【健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培うようにすること】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
②健康	1	・子どもたちが日々、心身共に充実感を味わえるように心がけているか？ 1　2　3　4　5 心がけていない　心がけてい	4.3
	2	・体育ローテーションにおいて、各種目毎のねらいを充分把握し取り組めているか。 1　2　3　4　5 取り組めていない　取り組めている	4.2
	3	・子どもたちのやる気や興味関心を引き出す言葉がけができているか？ 1　2　3　4　5 できていない　できてている	3.8
	4	・登園時に子どもたちの健康状態を目視しているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.4
	5	・子どもたちが進んで戸外で活動するよう配慮や工夫をしているか。 1　2　3　4　5 工夫していない　工夫している	3.7
	6	・ケガ・病気のチェック等、常に子どもたちの状態の把握を心がけているか。 1　2　3　4　5 心掛けていない　心掛けている	4.5
	7	・子どもたちが規則正しい生活習慣を送れるよう、言葉がけ等配慮できているか？ 1　2　3　4　5 配慮できていない　配慮できている	3.9

◎　人間関係　◎

【他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
③人間関係	1	・子ども自身が、相手の思いや気持ちに気付いていけるような援助や機会を設けているか。 1　2　3　4　5 設けていない　設けてい	3.9
	2	・園生活における望ましい習慣や態度を身に付けるための指導を行ったり、機会を設けているか。 1　2　3　4　5 設けていない　設けている	4.2
	3	・集団（友だち）の大切さ、共感・共鳴・共体験を実感できるように配慮しているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.9
	4	・集団で話し合ったり、多様な意見があることを体感できる環境があるか。 1　2　3　4　5 な　い　あ　る	3.5
	5	・日課活動において、子ども達の「声・表情」を見ながら、相互作用を意識するよう心がけているか。 1　2　3　4　5 心がけていない　心がけている	4.3
	6	・異年齢による交流をしたり、縦の関係性を感じられる環境があるか。 1　2　3　4　5 な　い　あ　る	3.5

□　環　境　□

【周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
④環境	1	・子どもたちにとって「豊かな環境」とは何かを常に考えているか。 1　2　3　4　5 考えていない　考えている	3.3
	2	・生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする心を育むよう工夫しているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.6
	3	・日常の保育で数量や文字・図形等に関心を持つ工夫がされているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.7
	4	・保育室の環境設定を様々な観点から自分なりに工夫しているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.5
	5	・園庭の環境（危険な場所等）に常に気を配っているか。 1　2　3　4　5 配っていない　配っている	4.3
	6	・子どもたちが挑戦できる場、ワクワクする環境設定を作れているか。 1　2　3　4　5 作れていない　作れている	3.4

○　言　葉　○

【経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑤言葉	1	・子どもが自分の気持ちを自分なりに表現したとき、それを受け止めているか。 1　2　3　4　5 受け止めていない　　受け止めてい	4.3
	2	・教師が率先して挨拶をし、子ども自身も挨拶の意味を知り、進んで行えているか。 1　2　3　4　5 行えていない　　行えている	4.5
	3	・絵本や紙芝居、素話などを時間や内容を考慮し、工夫して積極的に取り入れているか。 1　2　3　4　5 取り入れていない　　取り入れている	4.0
	4	・音読や俳句の唱和は、その言葉のもつテンポやリズムを楽しみながら行えているか。 1　2　3　4　5 行えていない　　行えている	4.0
	5	・言語日課活動（ことばカード等）の予習は充分できているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	4.0
	6	・子どもたちが話に注目して「聞く」環境設定を意識し、実践できているか。 1　2　3　4　5 育っていない　　育っている	3.8
	7	・保育者自身の言葉遣いに気をつけているか。 1　2　3　4　5 気をつけていない　　気をつけている	3.8

△　表　現　△

【感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする】

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑥表現	1	・子どもの表現しようとする意欲を受け止め、また子どもが様々な表現を楽しむことができるように配慮しているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.0
	2	・子どもの表情に気を配り、その表情から子どもの心情を読み取るようにしているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.4
	3	・子どもの喜怒哀楽を受け止め、子どもを認めた対応ができているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	3.9
	4	・色々な素材に親しみ、工夫して遊べる内容の活動は充分であるか。 1　2　3　4　5 充分でない　　充分できている	3.8
	5	・色々な素材を使い、子どもが自由に表現できる環境ができているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	3.5
	6	・子どもたちの「豊かな感性」に訴えかけ、想像（創造）力が広がる声かけができているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	3.5

◇　安全・衛生管理　◇

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑦ 安全衛生管理	1	・室内や園庭の安全を常に意識しているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.3
	2	・園庭は常に整備され、室内は清潔で整理、整頓が行き届いているか。 1　2　3　4　5 行き届いていない　　行き届いている	4.2
	3	・薬品の取り扱いに十分配慮しているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.6
	4	・給食配膳時の衛生管理はできているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	4.5
	5	・食物アレルギー児に対する対応は把握できているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	4.8
	6	・各保育室への配膳時、引き継ぎ事項の確認はできているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	4.3
	7	・個々の既往症の把握はできているか。 1　2　3　4　5 できていない　　できている	4.3

○　学級運営　○

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑧学級運営	1	・子どもたちの個々（特性）を認めつつ、信頼関係構築のための対応ができているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.1
	2	・出席簿は毎日正確に記入し、子どもの欠席状況などをしっかり把握して、欠席児への配慮も行えているか。 1　2　3　4　5 していない　している	4.5
	3	・個々の子どもの心身の状況を把握したり、配慮しながら保育しているか。 1　2　3　4　5 していない　している	4.6
	4	・指導計画、日々の保育を振り返り、評価、反省を行うとともに教師としての子どもへの関わり方なども、日々振り返り、明日の保育に活かせるようにしているか。 1　2　3　4　5 していない　している	3.9
	5	・日々の保育の中で「10の姿」を意識できているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	3.3
	6	・保育の準備は余裕をもってできているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	3.4

※「10の姿」とは文部科学省が小学校入学までの幼児期に育んでほしい姿を示したもの。
（知識や技能の基礎、思考力や判断力、表現力の基礎を習得するとともに、学びに向かう力や人間

○　家庭との連携・研修　○

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑨ 家庭との連携	1	・子どもの様子や育ち等をわかりやすく伝えるように努力 しているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	3.8
	2	・保護者の質問や意見を聞くなど情報交換をすることによって、幼稚園と家庭が子どもの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携がとれているか。 1　2　3　4　5 とれていない　　とれている	3.7
	3	・ケガ等があった場合、速やかに保護者に連絡しているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.2
⑩ 研修	1	・上司や同僚と「報告・連絡・相談」の体制をとれているか。 1　2　3　4　5 とれていない　　とれている	4.2
	2	・上司や同僚など、他の教師の助言や保育技術を参考にしているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	4.7
	3	・園内研修等で自己の課題について定期的に見直しや評価を行い、保育の質の向上に努めているか。 1　2　3　4　5 努めていない　　努めている	4.0
	4	・積極的に研修会などに参加したり、専門書や雑誌を読む等、保育技術を高めるための努力をしているか。 1　2　3　4　5 していない　　している	3.5

◎　その他　◎

	設問番号	チェックの内容・設問	自己評価
⑪ その他	1	・保護者・園児に対する言葉使いに気を付け、状況に合わせた言葉遣いができているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	3.7
	2	・子どもに対して、肯定的な言葉がけができているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	3.6
	3	・広い視野で子どもの行動・安全面等、見ることができているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	3.7
	4	・保育者自身の保育者としての身だしなみは適切か。 1　2　3　4　5 できていない　できている 身だしなみとして考えられるもの（　　）	4.0
	5	・子どもたちと楽しく、好き嫌いをなくす様に食事をできているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.0
	6	・食事マナーの向上(箸・お茶碗のもち方等)に努めているか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.1
	7	・災害時の行動を把握してるか。 1　2　3　4　5 できていない　できている	4.1
	8	○あなたが現在取り組んでいる、「自己啓発」を書きなさい。（複数回答可） ・ピアノの練習　・研修（オンデマンド）等に参加する ・読書（保育雑誌等含む）　・ネットやSNSで色々なアイデアを探る ・先輩のいいところを取り入れる　・目標設定をする ・完璧はないということを前提に反省と工夫を繰り返しつつ、情報収集や相談をし、様々な成長のヒントを得るようにしている。	